

さわやか



—KOMETO—
公明党



未来に責任。

SAWAYAKA JOURNAL 2019 VOL.2

発行元:佐々木さやかを励ます会 〒231-0002 横浜市中区海岸通4-22 関内カサハラビル3階 TEL 045-298-5967 FAX 045-319-4946

災害に強い町づくりへ

佐々木
が推進!

道路や学校の 防災対策を実施

災害に強い町づくりへ前進! ——
佐々木さやかをはじめ公明党議員の訴えで、2019年度予算にさまざまな防災・減災対策費が盛り込まれました。

その結果、河川や道路、学校施設などの防災・減災対策を集中的に実施していくことが決定。大規模停電時でも発電を維持できるよう、災害時に生活支援拠点となるコンビニなどに自家発電設備や蓄電池を導入することや、発災直後から被災地で医療支援を行う災害派遣医療チーム(DMAT)の体制強化なども進みます。

佐々木さやかは、3月13日の参院予算委員会で「災害に強い道路、橋、港湾などのインフラ整備を加速させる必要がある」と強調。安倍首相から「(インフラの整備などの)ハードからソフトまであらゆる手を尽くして首都直下地震等への防災・減災対策を総力を挙げます」との答弁を引き出していました。



参院予算委員会で質問する佐々木さやか

液体ミルクを自治体備蓄品に

また、佐々木は同委員会で、3月から国内販売が始まった「乳児用液体ミルク」は「調乳が不要という観点から災害時に有用」と指摘。各自治体などでも備蓄が進むよう、国の「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」に液体ミルクの活用を盛り込むことを要請しました。これについては、片山男女共同参画担当大臣が「ぜひ指針への追加を検討したい」と明言しており、さらなる備蓄の促進が期待されています。



海外で流通する液体ミルク。国内販売の解禁は佐々木さやか後押しした



LINE 友だち追加



@sayaka_sasaki



「議員GO」の年末特番でタレントの井上咲楽さんと

充実の動画ラインアップ
「議員GO」などの映像も

佐々木さやかの

LINE がリニューアル

佐々木さやかのLINEをリニューアルしました。ここでは、「1分でわかる佐々木さやか」動画をはじめ、佐々木が出演したインターネットテレビ「AbemaTV」の番組「議員GO」の年末特番、「さや活」のショートバージョンなどを視聴いただけます。また、公明党神奈川県本部が昨年10月から本年1月にかけて実施した「政策期待度アンケート」「かながわボイスアクション」の結果なども見ることもできます。是非、ご覧ください。

各界から

佐々木さやかに **エール**

佐々木さやかの政治活動に、各界から熱いエールが届いています。



全国がん患者団体連合会

天野慎介理事長 一人の声に光を当てる

弁護士として、悩みを抱える一人のために寄り添ってきた佐々木さやかさん。政治家になってからも、その姿勢を貫き、政策実現に生かされていると感じます。

治療によって脱毛などがある、がん患者の運転免許証の写真について、医療用帽子の着用が認められるようになったのも佐々木さんの国会質問がきっかけでした。制度の不備を変えていくことに政治の重要性があると思います。佐々木さんには、制度の狭間で悩む人を見つけ、声を聞き、光を当てていく力があります。その力を存分に発揮してほしいです。



一般社団法人
日本音楽療法学会

藤本禮子理事長 人に寄り添う力がある

音楽療法士の国家資格化は、2001年に日本音楽療法学会が設立されて以来の悲願です。

佐々木さやかさんには、人の心に寄り添い、心をくみ取る力があります。現在も、私たちの思いを受けて、徹底して国家資格化を訴えていただいております。佐々木さんはじめ公明党議員のお力添えによって、私たちの取り組みは、とどまることなく、着実に前進することができていると実感しています。日本音楽療法学会にとっても、なくてはならない佐々木さんには、さらなるご活躍を期待しています。



未来に責任。

佐々木さやかの多彩な実績

80以上の法改正に尽力

弁護士として東日本大震災の折に被災地の法律相談に当たった経験から、大規模災害時に誰もが無料で法律相談が受けられるように法整備(熊本地震から適用)。そのほか80以上の法改正に尽力しました。

130回以上の国会質問

佐々木の国会での質問回数は、参議院議員1期6年で130回以上。その中で、中小企業事業者の設備投資にかかる固定資産税を大幅に軽減する制度導入など、さまざまな政策を推進してきました。

68項目の青年政策提言

党学生局長として2年、多くの学生と懇談する中で青年の声をカタチにするための68項目の政策を提言。海外留学に伴う奨学金の充実や、いじめ根絶へLINEを用いた相談体制の確立などに尽くしてきました。

profile

- 参議院議員1期(神奈川選挙区)。横浜市在住(青森県八戸市出身)。
- 創価大学法科大学院修了。弁護士。税理士。
- 参議院厚生労働委員会、法務委員会、決算委員会の理事を歴任。農林水産委員会委員。消費者問題に関する特別委員会委員。
- 党女性委員会副委員長、青年委員会副委員長、学生局長、神奈川県本部副代表。
- 趣味は音楽鑑賞、根性と忍耐がモットーで、涙もろくて義理堅い性格。尊敬する人は両親、ローザ・パークス。

